

853 司法官招待会

〔『法学新報』第35巻6（401）号 大正14年6月1日〕

○司法官招待会 中央大学に於ては司法官会同の爲め出京したる學員諸氏の招待会を去月十四日小石川伝通院前の偕楽園に於て開催したり当日は來賓として大田黒英記、執行軌正、森榮、大橋樹太郎、吉原謙亮、篠原泰助、荒井操、多田常太郎、伊藤久次郎、大久保與三吉、栗本武三、伊藤浩藏、佐々木佐吉郎、國枝鎌三、藤岡大英、杉本時三郎、山内牧二郎、芥川兵吉、川田久信、赤井定義、五味逸平の諸氏出席し席定まるや馬場愿治博士より主人側を代表して開会の挨拶あり大田黒大阪控訴院検事長は來賓を代表して謝辞を述べ次て一同の希望により元田肇先生の懐旧談あり卜部喜太郎氏より江木衷博士の前田米藏氏よりは横田千之助氏の臨終の追憶談ありて故人の在世當時を偲ひ夫れより宴に入りて酌み且つ談し興尽るなく來賓の需に応し馬場博士は起て中央大学の現状を報告し一同母校の万歳を唱へて散会したり尚ほ当日招待の森彦

逸、佐伯經臣、内藤諒太郎、吉益俊次、猪股治六、中村正  
臣、島倉龍治、安達駿三郎、男庭善之助、堀江幸市諸氏の差  
支の為め欠席せられたるは一同の遺憾とする所なりき